

自由科目(特設)

展開科目群

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
8060102	学際的社会科学演習	2	3.0	3・4	春AB秋AB秋C	水5,6集中	3A212	田中 洋子	工業化、グローバル化が私たちの生活や社会経済システムに与えてきた変化とそのインパクトについて学び、これからの社会のあり方について考えるゼミである。自動化・デジタル化・グローバル化・市場自由化という大きな変化の中で、働き方・生活の仕方や地域社会・地球環境などが大きくその構造を変えつつある。この歴史的転換について、社会科学を基盤に学際的に学びつつ、今後の社会のあるべき方向について、様々な視点を持つ全学の学生が集まり、文献を読みながら少人数で議論していく。文献講読だけでなく、様々な現場に調査にでかけつつ、個人の研究を進めていく。若干名のみ募集。	少人数ゼミとして、文献講読・議論・フィールドワーク・学園祭企画などを行っていく。意欲的に社会問題を考えていきたい人向け。水曜の5限以降をあけておくことが望ましい。
8060201	筑波山から学ぶ—地域の文化資源発掘	1	2.0	2・3	春AB秋A	水6集中	— 3A405	前川 啓治	つくば市は学園地区と、筑波地区に代表される伝統的な地域空間からなっている。しかし、学生は4年間を過ごしても大周遊しか知ることはない。筑波山麓地域にフィールドワークに行くと、すべての学生が、もっと早くから「筑波」を知ればよかったという感想をもつ。この授業の前半はオムニバス形式で筑波山について広く学び、後半は集中で、10月末に筑波山麓フットパス・ウォーキングを行い、景観の撮影を行う。筑波山麓地域空間に触れ、文化資源の発掘を目指す。	10月最終土ないし日曜日のフィールドワーク・ウォーキングに参加できない場合は、受講を受け付けない。
8100102	障害学生支援技術	2	1.0	1-3	通年	随時		竹田 一則, 加藤 靖佳, 名川 勝, 佐々木 銀河, 小林 秀之	最初の全体オリエンテーションでは、障害学生および支援学生にも参加してもらい、本学における障害学生支援のしくみと実際の支援内容について説明する。その後、視覚障害、聴覚障害、運動・内部障害、発達障害の支援技術のいずれかを選択し、障害別に実施する講義・演習等の授業を受講する。視覚障害は移動支援・印刷物のテキストデータ化等、聴覚障害はパソコン要約筆記等、運動・内部障害は移動支援・ノートテイク等の技術、発達障害は就学支援コンテンツの作成や学習・コミュニケーション支援等の技術の習得を目指す。なお、本授業を受講した後はピア・チューターとして実際の支援活動に従事することができる。	本授業は、全体オリエンテーションおよび障害別の支援技術に関する講義・演習の2つを受講することで単位を認定する。受講者は、全体オリエンテーションに必ず出席すること(4月下旬ごろ実施予定)。日程の詳細は掲示にて通知する。障害別の講義・演習について、受講希望者多数で定員を超えた場合には、人数制限をする場合がある。詳細後日周知 実務経験教員
8202003	コンテンツ表現工学	3	1.0	1-3	秋ABC	金6	3L504	宇津呂 武仁, 鈴木 健嗣, 延原 肇, 星野 准一, 若槻 尚斗, 星野 聖	コンテンツ表現の基礎を学ぶとともに、コンテンツ工学技術(CG, VR・デバイス, 音楽・映像メディア, 自然言語処理, ウェブ検索サービスなど)を利用した独自のコンテンツを制作する一連のプロセスを体験します。工学, 医学, 芸術・デザイン, ビジネスなどの異種分野の協調による多視点的な問題設定・解決を重視します。	
8204004	巨大プロジェクトエンジニア入門	4	1.0	1・2	秋学期開講			松田 昭博, 嶋津 龍弥, 関 義広, 橋口 友洋	巨大プロジェクトのエンジニアになるために必要な専門知識やコミュニケーションスキルなどの能力について学び、エンジニアとしてのキャリアパスについて考察する。実際に産業界などで活躍するエンジニアを招き、巨大プロジェクトに関わるやりがいや苦労についてリアルな事例を提供する。後半は、構造・流体に関するコンピューターソフトウェアを用いたワークショップを行い、将来必要となるスキルについて考える。	実務経験教員
8310201	スポーツが変われば、大学が変わる	1	1.0	1-4	秋AB	水6	1H101	高木 英樹	現在筑波大学アスレチックデパートメントが取り組んでいる大学スポーツ改革・筑波大学のブランディング・大学スポーツを通じた地域貢献活動について経緯や今後の展開について当事者である学生の興味関心を高め、大学スポーツがいかにかに学生生活に影響していくのか理解を得ることを目的とする。	アスレチックデパートメント開設
8310305	スポーツボランティア講座	5	1.0	1-4	春ABC	集中		平岡 拓晃	講義により、大規模な国際スポーツ大会のボランティアとして活躍するために必要な知識について学ぶ。その後、少なくとも5日(合計45時間)以上のボランティア活動に従事し、最後に振り返りをする事で、広い視野と国際性、協働性・主体性・自律性を身に付ける。	2020年度の受講者は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関連するボランティアに参加予定の者に限る。5/28, 5/29に50216にて講義を行う(いずれか)に出席。9/18に大学会館ホールにてレポート講評会を行う。5/28, 5/29
8320302	創造学群表現学類—OB0G指導によるクリエイティブ体験講座	2	2.0	3・4	春C秋A	集中	6A208	原 忠信	「筑波大学」を社会に発信するためのコミュニケーションを言語、デザイン、音楽、身体等の表現を通じて考え、クリエイティブワークを総合的、体験的に学習する。	実施時期等は掲示にて周知する。参加者は事前オリエンテーションに必ず出席すること。希望者多数の場合、人数制限をする場合がある。H24までの「創造学群表現学類—OB0G指導によるクリエイティブ体験講座A・B」との重複履修は認めない。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
8330524	囲碁で培う思考力	4	2.0	1-4	秋A 秋B	水3,4	3A403 3B203 3B203	前田 良二, 白川 直樹, 八森 正泰	最初に囲碁のルールを理解した後、実戦例をもとの囲碁の考え方、進め方、形勢判断方法などを学ぶ。さらに演習として実際に対局し、その評価を通じて様々な考える力を培う。囲碁の歴史と文化なども概観する	原則として囲碁を知らない者を対象とする。履修希望者が40名を超える場合は人数制限を行う。初回授業のみ3A403で行う。

キャリア形成科目群

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
8050111	ジェンダーとグローバル共生	1	1.0	1-4	秋AB	火5	1D204	黄 順姫	本科目は1年生から4年生を対象にし、受講生が女子学生・男子学生であれ、卒業後就職を前提に進路を選択し、個人のライフスタイルや、結婚・出産・育児などのライフステージに関わる現代社会の現実を生きるための準備教育である。少子化・高齢化・生産能力人口が急激に減少する現代では、過去のように男性は仕事、女性は家族の世話のみの生活ができなくなっている。なお、非婚、離婚・再婚など現代社会の複雑さのなかで、個人はキャリアを構築していくことになる。たとえ個人は地元で一生を暮らすことを望んでも、国際化のなかで、グローバル、グローバルな現実社会を生きざるをえない。本科目は、このように学生たちのキャリア形成と共存・共生のために、ジェンダー、グローバル・グローバルの観点から、専門家や企業人を講師に迎えて講義を行う。	
8320404	ダイバーシティとジェンダー/セクシュアリティ	4	1.0	1	夏季休業中	集中		河野 禎之	産業構造が急速に変化し、人々の生活文化、家族のあり方や社会が変容する中、多様な属性の人々の存在とともに、我々の生き方も多様性に満ちていることが明らかとなっている。そこにある個人や個人をとりまく人間関係、組織や地域社会では、どのような問題が生じているのか。本授業では、「人の多様性」のうち、特に「ジェンダー」及び「セクシュアリティ」を切り口として、現代の社会現象を「ワーク・ライフ・バランス」「男女共同参画」「ダイバーシティ」の3つをキーワードにその本質について学ぶ。そのために、講師による話題提供とともにグループ・ディスカッションを重ね、より広い視野と柔軟な発想をトレーニングしながら、受講生個人の生きる力、社会力を身につけることにつなげることを目指す。	(ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター企画)平成27年度までの「ワーク・ライフ学」―「仕事と生活」と男女共同参画―及び令和元年度までの「ワーク・ライフ学」―男女共同参画とダイバーシティ―に相当するため、これらの授業の履修者による重複履修は不可。
8320504	起業家のための経営・知財必須知識	4	1.0	1-4	秋AB	集中	11C10 1-103	尾内 敏彦, 五十嵐 浩也	起業に興味を持ちそのために必要となる知識を身につけたい学生が、ベンチャービジネス、知的財産とその戦略、マーケティング、経営とファイナンスなどの実践的な実学を、ベンチャー企業のライフサイクルに合わせて演習を含めて学習する。	令和元年度までの「次世代起業家養成のための経営・知財必須知識」に相当するため、これらの授業の履修者による重複履修は不可。 実務経験教員
8321101	筑波クリエイティブ・キャンパ・ベシクアアントレプレナー入門講座	1	1.0	1-4	春AB	集中		尾内 敏彦, 五十嵐 浩也, 尾崎 典明	起業に関心のある受講者に対して、実際に起業に携わった経営者陣が、様々な経験に基づく講義を行う。学生によるアイデアを主な対象として、メンタリング等によりビジネスプランのブラッシュアップを図ると共に、起業マインドの醸成と起業のための基本スキルの習得を図る。	実務経験教員
8321202	筑波クリエイティブ・キャンパ・アドバンスト	2	1.0	1-4	秋AB	集中	11C10 1-103	尾内 敏彦, 五十嵐 浩也, 森川 亮, 伊藤 健吾	本格的に起業を目指す受講者に対して、本学出身者を中心とする経営者陣が、起業プランに対するメンタリングを行う。受講者の持つ起業プランを具体化し、筑波大学発ベンチャーの設立を支援する。	所属主専攻の科目番号で履修登録すること。 実務経験教員

グローバル自由科目群

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
8010801	21世紀の中国―現代中国の諸相―	1	1.0	2-4	秋AB	金4	1H201	矢澤 真人	巨大な隣国である中国は、1976年の文化大革命の終結以降、経済の改革開放政策の成果により、大きな変貌を遂げた。21世紀初頭の今、ますます存在感を増した中華人民共和国の現在の諸相を、第一線の経験を持つ筑波大学OBの講師陣が分析し、学生にとって身近な目線で講じる。中国と日本の関わりを実際の動きの中で捉えていくことを目指す。	現在中国との関わりが深い筑波大学OBが講師となっている。現代中国の文化、社会、経済、環境、日中翻訳など、様々な観点から、現場に立つ講師ならではの姿が描き出される。既成の学問の枠で説明されたものを理解して満足するのではなく、実社会の動きの中で課題を捉え、みずから解決していくために何が必要か、講義中から受講者自身で考えたいことを望みたい。 G科目
8030106	フィリピン英語研修I	6	3.0	1-4	夏季休業中	集中		鈴木 伸隆	夏季休業中の4週間を利用して、フィリピン・セブ島での英語学校にて英語研修を行う。主に英語を少しでも話せるようになるためのスピーキング力を強化する。現地では英語学校併設の学生寮に宿泊する。教員の引率はなく、あくまでも語学研修が中心の生活である。	
8030206	フィリピン英語研修II	6	3.0	1-3	春季休業中	集中		鈴木 伸隆	春季休業中の4週間を利用して、フィリピン・セブ島での英語学校にて英語研修を行う。主に英語を少しでも話せるようになるためのスピーキング力を強化する。現地では英語学校併設の学生寮に宿泊する。教員の引率はなく、あくまでも語学研修が中心の生活である。	
8030306	海外英語研修I-a	6	3.0	1-4						2020/4/7 開講中止決定 2020年度開講せず。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
8030406	海外英語研修I-b	6	3.0	1-4						2020/4/7 開講中止決定 2020年度開講せず。
8030506	海外英語研修I-c	6	3.0	1-4						2020/4/7 開講中止決定 2020年度開講せず。
8030606	海外英語研修II-a	6	3.0	1-3	春季休業中	集中		鈴木 伸隆, 江口 真規	春季休業中の4週間を利用して英語圏の大学にて英語研修を行い、英語の4技能の強化をはかる。併せて、現地大学生や他国からの学生との交流、ホームステイ、地域ボランティアといったアクティビティを通じて、英語を実践的に活用しながら、異文化・社会に対する理解を深める。	
8030706	海外英語研修II-b	6	3.0	1-3	春季休業中	集中		鈴木 伸隆, 江口 真規	春季休業中の4週間を利用して英語圏の大学にて英語研修を行い、英語の4技能の強化をはかる。併せて、現地大学生や他国からの学生との交流、ホームステイ、地域ボランティアといったアクティビティを通じて、英語を実践的に活用しながら、異文化・社会に対する理解を深める。	2/15-3/15
8030806	海外英語研修II-c	6	3.0	1-3	春季休業中	集中		鈴木 伸隆, 江口 真規	春季休業中の4週間を利用して英語圏の大学にて英語研修を行い、英語の4技能の強化をはかる。併せて、現地大学生や他国からの学生との交流、ホームステイ、地域ボランティアといったアクティビティを通じて、英語を実践的に活用しながら、異文化・社会に対する理解を深める。	
8042104	海外武者修行	4	1.0	2-4	通年	応談		大倉 浩	海外の大学・企業等において、自らの企画により交流・研修活動等を行い、大学では得られない経験と自らの能力・適性を客観的に判断する機会を得る。積極性と企画力・実行力の向上及び自立性の向上を図るとともに、現地の学生グループなどと交流・研修活動を行うことにより、武者修行による教育効果を期待する。	「はばたけ 筑大生!海外武者修行支援プログラム」の募集要項に従い手続きを行うこと。
8070307	国際パートナーシップ研修(中南米)	7	2.0	1-4	通年	応談		磯田 沙織	本授業は、メキシコ、コロンビア、ペルー、チリ、ブラジルの提携協定校との協働教育科目の一つとして開講するものである。約3週間の双方向の短期研修を利用し、事前研修の後、研修の実施国において、 1語学研修、 2当該国や日本の社会や文化に対する相互理解、 3学生の専門に応じた専門研修、 4現地企業や関連機関等でのインターンシップ、 5研修の仕上げとしてのレポート提出と提携校の学生を交えた報告会(協働演習)から構成される。 成績評価は、派遣学生については、上記に係る提携協定校のプログラム関係教員及び学生からの報告書並びに報告会における発表等に基づき、授業担当教員が行う。受け入れ学生については、上記に係る学習状況及び学生の報告書並びに報告会における発表等に基づき、授業担当教員が行う。	メキシコ、コロンビア、ペルー、チリ、ブラジルの提携協定校での実施を予定 6科目 卒業する年度において、卒業要件として単位修得する履修は認めない。世界展開力(中南米)プログラム生に限る。
8070406	国際パートナーシップ協働演習(中南米)	6	2.0	2-4	通年	応談		磯田 沙織	本授業は、メキシコ、コロンビア、ペルー、チリ、ブラジルの提携協定校との協働教育科目として開講するものである。双方の指導教員の指導の下に、 1提携校での留学期間を利用したフィールドワーク、 2留学先学生との協働研究、 3報告書に基づき、留学経験者を交えた研究発表と討議から成る。 日本と中南米双方の開発課題とグローバル課題を共有し、留学の体験と学修、現地調査の成果として、その課題解決に向けた実践的討議を主な内容とするものである。 交換留学のタイミングにもよるが、最後の研究発表と討議は、本学での受け入れ留学生との合同での実施により協働教育の実を高めることとする。 成績評価は、派遣学生については、上記に係る提携協定校のプログラム関係教員からの報告及び学生の報告書並びに研究発表等に基づき、授業担当教員が行う。受け入れ学生については、上記に係る学習状況及び学生の報告書並びに研究発表等に基づき、授業担当教員が行う。	世界展開力(中南米)プログラムで派遣及び受け入れている学生で、受け入れ教員の指導のもとに実施。終了時に報告会を行う。 6科目 卒業する年度において、卒業要件として単位修得する履修は認めない。世界展開力(中南米)プログラム生に限る。
8290107	国際パートナーシップ研修(東南アジア)	7	2.0	1-4	夏季休業中	集中		森川 一也	本授業科目は、日本において準備教育を実施した後、学生を東南アジア諸国へ派遣するとともに、学生の専門分野に応じた適正技術に係る実習・研究発表等を行うことで、以下の知識・能力を身に付けさせることを目的としたものである。 1 英語による実践的なコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力 2 派遣国や日本の社会・文化に対する理解 3 派遣国における発展段階に応じた課題、適正技術へのニーズ等に対する理解 4 適正技術の開発・実装に向けた課題の抽出	全学自由科目(特設)。本学および国際基督教大学の学生に限る 8/1-9/30 左記期間のいずれか(後日掲示) 詳細後日告知

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
8330206	海外語学研修ドイツ語	6	3.0	2 - 4					パイロイト大学主催のドイツ語コースに参加することで、ドイツ語教育の専門家による授業を受け、ドイツの日常生活や文化に触れながらドイツ語を学ぶ。	グローバルコミュニケーション教育センター開設。ドイツ、パイロイト大学「外国語としてのドイツ語」学科にて研修。詳細後日、案内掲示あり。 2020年度開講せず。 G科目 新型コロナウイルス感染症防止のため開講中止決定(2020/04/01)
8330306	海外語学研修中国語A	6	3.0	2 - 4					夏期休暇中の約3週間の期間を利用し、交流協定校である中国長沙市の湖南大学において、中国語研修を行う。教室で基礎学習を行いつつ、実際の生活の中で中国人及び中国社会にじかに触れながら学び、異文化理解力と語学運用能力を高める。	グローバルコミュニケーション教育センター開設。中国、湖南大学日本語・文化学部にて研修。春学期に説明会を実施予定(後日、案内掲示あり)。 2020年度開講せず。 G科目 新型コロナウイルス感染症防止のため開講中止決定(2020/04/01)
8330316	海外語学研修中国語B	6	3.0	1 - 4					華東師範大学(中国上海市)で開設される中国語コース(約3週間)において、短期集中型の語学研修を行うと同時に、現地の日系企業における体験学習を実施し、それらを通して語学力を向上させ、異文化理解を深める。	グローバルコミュニケーション教育センター開設。中国上海市、華東師範大学対外漢語学院にて研修。詳細後日、案内掲示あり。 2020年度開講せず。 G科目
8330406	海外語学研修ロシア語A	6	3.0	2 - 4					夏期休暇中の3~4週間の期間を利用し、本学の教育学術交流協定大学であるサンクトペテルブルク大学文学部ロシア言語文化カレッジにおいてロシア語研修を行う。具体的には、授業の場で基礎文法、会話、読解などをバランスよく学習する一方、ロシア本国での実生活という体験学習を通じてロシアの文化や社会、ロシアの人々の国民性や価値観などに対する理解を一層深める。	グローバルコミュニケーション教育センター開設。ロシア、サンクトペテルブルク大学文学部附属ロシア語ロシア文化カレッジにて研修。詳細後日、案内掲示あり。 2020年度開講せず。 G科目 新型コロナウイルス感染症防止のため開講中止決定(2020/04/01)
8330416	海外語学研修ロシア語B	6	3.0	2 - 4					夏期休暇中の3~4週間の期間を利用し、キルギス共和国日本人材開発センター(本学の協定校であるキルギス民族大学構内/首都ビシュケク)と本学とが協力・連携し、同センターにおいて、主にロシア語研修を行う。ロシア語のほか、現地語であるキルギス語の研修も実施する。キルギス共和国での実践的な語学・異文化研修を通じて、ロシア語及びキルギス語の運用能力を伸ばすとともに、ロシア語圏の文化や社会の多様性に対する理解を一層深める。	グローバルコミュニケーション教育センター開設。パスポートを早めに用意すること(更新期限が切れていないか確認すること)。また研修中は危機管理を常に意識すること。ロシア語で授業。 2020年度開講せず。 G科目 新型コロナウイルス感染症防止のため開講中止決定(2020/04/01)
8330426	海外語学研修ロシア語C	6	3.0	2 - 4					春季休暇中(3月)の3~4週間の期間を利用し、協定大学であるカザフ国立大学(カザフスタン共和国、アルマトイ)と本学とが協力・連携し、同大学において、主にロシア語研修を行う。ロシア語のほか、国家語であるカザフ語の研修も実施する。カザフスタン共和国での実践的な語学・異文化研修を通じて、ロシア語及びカザフ語の運用能力を伸ばすとともに、ロシア語圏の文化や社会の多様性に対する理解を一層深める。	グローバルコミュニケーション教育センター開設。パスポートを早めに用意すること(更新期限が切れていないか確認すること)。また研修中は危機管理を常に意識すること。ロシア語で授業。 2020年度開講せず。 詳細後日周知 G科目 新型コロナウイルス感染症防止のため開講中止決定(2020/04/01)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
8330606	海外語学研修英語A	6	3.0	1 - 4					夏季休暇中の3週間を利用し、英国オックスフォード大学ハートフォードカレッジと本学が協力・連携して実施する英語研修プログラムに参加し、授業や学外研修などを通して英語を実践的に活用しながら目的に応じた効果的なコミュニケーション能力の養成を行う。また、オックスフォードや英国の歴史、社会、文化などについての知識を深めることに加え、現地での生活体験、学生や地域の人々との交流を通じて異文化対応力を身につける。さらには協同の英語プレゼンテーションを通じて課題解決のためのチーム力を養う。	グローバルコミュニケーション教育センター開設。オックスフォード大学ハートフォード校にて研修。春学期に説明会を実施予定(後日、案内掲示あり)。英語で授業。 2020年度開講せず。 6科目 新型コロナウイルス感染防止のため開講中止決定(2020/04/01)

日本事情等科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
8049911	日本の歴史	1	1.0	1・2	春C	月5,6		山澤 学	日本の歴史について、重要なトピックを取り上げ、学修する。	(人文・文化学群開設)履修は、留学生および外国滞在期間5年以上の帰国生徒に限る。令和元年度以前に1B26511の単位を既に修得している学生は履修不可。【受講制限数40名】
8049921	日本の生活文化	1	1.0	1・2	秋AB	水3	2G205	加藤 晴美	歴史地理学の視点から、近世~近現代の日本におけるさまざまなマチ(都市)・ムラ(村落)の景観と生活およびその変容について検討する。	(人文・文化学群開設)外国人留学生及び帰国生徒に限る。
8149911	日本の自然	1	1.0	1・2	春AB	水5		角替 敏昭	ユーラシア大陸の東端に位置する日本列島およびその周辺地域でみられる地質学的現象の特徴とその成因について講義する。特に46億年の地球史の中で、日本がどのように位置づけられるのか学修する。また、筑波山周辺など身近な地域の変遷についても紹介する。	(地球学類開設)外国人留学生及び帰国生徒に限る。平成27年度以前の7200131の単位取得者は、授業内容が異なるため履修を可とする。【受入上限数40名】